

日産財団ニュースレター (第24号)

2016年9月発行



ひとを育て、未来に夢を...

はじめに

日産財団では、2015年度理科教育助成(助成期間2016.1.1~2017.12.31)の対象校・団体の1年目の活動状況を把握するための助成校・団体への訪問を実施しています。それぞれの学校・団体の実践内容を、日産財団ニュースレターで紹介していきます。

◆ 2015年度助成校・団体の活動紹介(2016年6-9月で訪問した7件)

栃木県 宇都宮大学教育学部附属小学校



初等教育公開研究発表会の理科の授業。写真左が4年生「水のすがたと温度」の授業で水を温めて出る気体は水蒸気であることの確認。右が5年生「植物の一生を科学する-種から花へ-」の授業で、発芽に必要な要素を確認。どちらの授業もiPad、AppleTVを活用、事象の確認や発表が行われた。

神奈川県 横浜市立井土ヶ谷小学校



第3回生活科・理科の授業研究会。写真左は5年生「大岡川パワー発見～流水の働き～」の授業で、カーブの内側と外側の流れる速さの比較を砂山に水を流して調べている。右は、「並列つなぎの電流の強さは変わらないのかな?～電流の働き～」の授業で、電流の強さを比べて調べている。

福岡県 福岡市立横手中学校



全校生徒を対象とした講演会(講師はJAXA広報部柳川孝二氏)。宇宙、さまざまな宇宙活動、未来への期待の構成で、分かりやすく宇宙と宇宙飛行士について説明。生徒から活発に質問があり、将来JAXA職員になりたいという言葉も聞かれた。校内には、常設の宇宙コーナーを設置している。

福岡県 北九州市小学校理科教育研究会



理科教育研究会会員が講師を務めた理科実験実技講習会。教員を対象に3～6年生の学年別で、授業における実験の正確な結果の導き方や、児童の関心を引き出し、理解を深める為の授業の流れと実験の紹介等が行われた。

神奈川県 横須賀市立野比小学校



5年生の単元「台風と天気の変化」の1/3時の研究授業、日本の南海上の台風が日本の方に来る/来ないを根拠を持って考え、表現する授業。学校の校庭で写した雲の動きを大型モニターで写して根拠の1つを提示。右の写真はユニバーサルデザインの観点を入れた「わかる授業づくり」に関する研究協議会の様子。

神奈川県 厚木市立戸室小学校



写真左2枚が3年生「植物を育てよう～夏の終わりの様子～」の授業で、種から育てたマリーゴールドの実を採取し、実と種を大きさや特徴などを観察しながらスケッチしている様子。右2枚はPC教室で行われた1年生「いろいろな生き物を知ろう」の授業で、撮影された植物や昆虫の拡大画像を見ながらスケッチしている様子。

栃木県小学校教育研究会足利支部理科部会



足利市立筑波小学校で行われた生活科・理科の校内指導法研究会。理科は3学年の「かげのでき方と太陽の光」の単元で、影向きと太陽の位置の関係を予測し発表。生活科は1学年の「きせつともだち」の単元の15/15時で、遊び名人の発表会をしようのめあてで、「しゃぼんだま」「みずでっぽう」「すなばそび」の極意をグループで発表。